

This Page Is Inserted by IFW Operations
and is not a part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representation of
The original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning documents *will not* correct images,
please do not report the images to the
Image Problem Mailbox.

PATENT
83394.0001
Express Mail Label No. EL 713 626 971 US

4/16/03
P#
#1/2
jc975 U.S. PTO
10/099903
03/13/02

IN THE UNITED STATES PATENT AND TRADEMARK OFFICE

In re application of:

Tatsuo YOSHIOKA et al.

Serial No: Not assigned

Filed: March 13, 2002

For: AUTOMOBILE INSURANCE CONTENTS SETTING
SYSTEM, AUTOMOBILE INSURANCE PREMIUM
SETTING SYSTEM, AND AUTOMOBILE
INSURANCE PREMIUM COLLECTION SYSTEM

Art Unit: Not assigned

Examiner: Not assigned

TRANSMITTAL OF PRIORITY DOCUMENT

Box PATENT APPLICATION
Assistant Commissioner for Patents
Washington, D.C. 20231

Dear Sir:

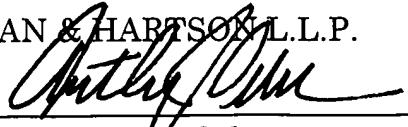
Enclosed herewith are certified copies of Japanese patent application Nos. 2001-089178 filed March 27, 2001 and 2001-269821 filed September 6, 2001, from which priority is claimed under 35 U.S.C. § 119 and Rule 55.

Acknowledgment of the priority document(s) is respectfully requested to ensure that the subject information appears on the printed patent.

Respectfully submitted,

HOGAN & HARTSON L.L.P.

Date: March 13, 2002

By: 
Anthony J. Orler
Registration No. 41,232
Attorney for Applicant(s)

500 South Grand Avenue, Suite 1900
Los Angeles, California 90071
Telephone: 213-337-6700
Facsimile: 213-337-6701

日本国特許庁
JAPAN PATENT OFFICE

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されて
いる事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed
with this Office

出願年月日

Date of Application:

2001年 3月27日

出願番号

Application Number:

特願2001-089178

[ST.10/C]:

[JP2001-089178]

出願人

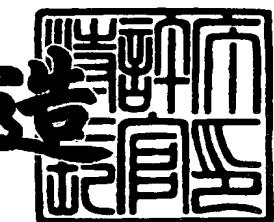
Applicant(s):

株式会社日立製作所

2002年 2月26日

特許庁長官
Commissioner,
Japan Patent Office

及川耕



出証番号 出証特2002-3011188

【書類名】 特許願

【整理番号】 KP-0001353

【あて先】 特許庁長官殿

【国際特許分類】 G06F 7/00

【発明者】

【住所又は居所】 東京都千代田区神田駿河台四丁目 6 番地 株式会社 日立製作所内

【氏名】 吉岡 達夫

【発明者】

【住所又は居所】 東京都千代田区神田駿河台四丁目 6 番地 株式会社 日立製作所内

【氏名】 伊藤 彰朗

【発明者】

【住所又は居所】 神奈川県川崎市幸区鹿島田 890 番地 株式会社 日立製作所 ビジネスソリューション開発本部内

【氏名】 梅澤 知弘

【発明者】

【住所又は居所】 神奈川県川崎市幸区鹿島田 890 番地 株式会社 日立製作所 金融システム事業部内

【氏名】 二村 潤

【特許出願人】

【識別番号】 000005108

【氏名又は名称】 株式会社 日立製作所

【代理人】

【識別番号】 100075959

【弁理士】

【氏名又は名称】 小林 保

【電話番号】 (03)3864-1448

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 016207

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【包括委任状番号】 0003946

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 自動車保険の内容設定システム

【特許請求の範囲】

【請求項1】 保険加入者が保険の対象項目と保険の補償内容とを特定して行った自動車保険の加入申込に基づいて、前記保険加入者の運転能力の提示を求め、前記保険加入者から提示された運転能力を算定評価し、前記保険加入者の特定する保険の対象項目と保険の補償内容でなされた保険加入申込に基づいて前記算定評価した前記保険加入者の運転能力に応じて当該自動車保険に対して保険料の算定を行うことを特徴とする自動車保険の内容設定システム。

【請求項2】 保険加入者が保険の対象項目と保険の補償内容とを特定して行った自動車保険の加入申込に基づいて加入申込保険内容を保険加入者データベースに登録処理し、前記保険加入者に対し当該保険加入者の運転能力の提示を要求する処理を行い、前記保険加入者からの当該保険加入者の運転能力の提示を受けて前記保険加入者データベースに登録処理し、前記提示を受けた前記保険加入者からの運転能力の算定評価を行う処理をし、前記保険加入者の運転能力の算定評価を前記保険加入者データベースに登録処理し、前記保険加入者データベースに登録処理した申込自動車保険の保険内容に基づいて前記算定評価した前記保険加入者の運転能力に応じて当該自動車保険に対して保険料の算定し前記保険加入者データベースに登録処理し、前記算定した保険料を前記保険加入者に対して提示する処理を行い、前記保険加入者からの前記保険の加入申込に基づいて前記保険加入者へ前記保険加入者データベースに登録処理されている保険料の請求処理を行い、前記保険加入者の前記保険料の支払に基づき前記加入保険の契約の成立を前記保険加入者データベースに登録処理することを特徴とする自動車保険の内容設定システム。

【請求項3】 前記保険加入者の運転能力は、保険加入者の運転歴である請求項1又は2に記載の自動車保険の内容設定システム。

【請求項4】 前記保険加入者の運転能力は、保険加入者の違反歴である請求項1又は2に記載の自動車保険の内容設定システム。

【請求項5】 前記保険加入者の運転能力は、保険加入者の事故歴である請求項1又は2に記載の自動車保険の内容設定システム。

【請求項6】 前記保険加入者の運転能力は、保険加入者の総走行距離である請求項1又は2に記載の自動車保険の内容設定システム。

【請求項7】 保険加入者が保険の対象項目と保険の補償内容とを特定して行った自動車保険の加入申込に基づいて、前記保険加入者の運転条件の提示を求め、前記保険加入者から提示された運転条件を算定評価し、前記保険加入者の特定する保険の対象項目と保険の補償内容でなされた保険加入申込に基づいて前記算定評価した前記保険加入者の運転条件に応じて当該自動車保険に対して保険料の算定を行うことを特徴とする自動車保険の内容設定システム。

【請求項8】 保険加入者が保険の対象項目と保険の補償内容とを特定して行った自動車保険の加入申込に基づいて加入申込保険内容を保険加入者データベースに登録処理し、前記保険加入者に対し当該保険加入者の運転条件の提示を要求する処理を行い、前記保険加入者からの当該保険加入者の運転条件の提示を受けて前記保険加入者データベースに登録処理し、前記提示を受けた前記保険加入者からの運転条件の算定評価を行う処理をし、前記保険加入者の運転条件の算定評価を前記保険加入者データベースに登録処理し、前記保険加入者データベースに登録処理した申込自動車保険の保険内容に基づいて前記算定評価した前記保険加入者の運転条件に応じて当該自動車保険に対して保険料の算定し前記保険加入者データベースに登録処理し、前記算定した保険料を前記保険加入者に対して提示する処理を行い、前記保険加入者からの前記保険の加入申込に基づいて前記保険加入者へ前記保険加入者データベースに登録処理されている保険料の請求処理を行い、前記保険加入者の前記保険料の支払に基づき前記加入保険の契約の成立を前記保険加入者データベースに登録処理することを特徴とする自動車保険の内容設定システム。

【請求項9】 前記保険加入者の運転条件は、保険加入者の運転が夜間専業である請求項7又は8に記載の自動車保険の内容設定システム。

【請求項10】 前記保険加入者の運転条件は、保険加入者の乗車する車両の整備状態の良否である請求項7又は8に記載の自動車保険の内容設定システム

【請求項1 1】 前記保険加入者の運転条件は、保険加入者の乗車する車両のエンジントラブル発生回数である請求項7又は8に記載の自動車保険の内容設定システム。

【請求項1 2】 前記保険加入者の運転条件は、保険加入者の乗車する車両の修理回数である請求項7又は8に記載の自動車保険の内容設定システム。

【請求項1 3】 前記保険加入者の運転条件は、保険加入者の走行する地域が限定されたものである請求項7又は8に記載の自動車保険の内容設定システム。

【請求項1 4】 前記保険加入者の運転条件は、保険加入者の運転が通勤用か否かである請求項7又は8に記載の自動車保険の内容設定システム。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、自動車保険システムに係り、特に保険料の算定を保険加入者の運転能力、保険加入者の運転条件を評価して行う自動車保険の内容設定システムに関する。

【0002】

【従来の技術】

自動車を運転する者は、自己が所有する自動車に対して対人保険、対物保険、自賠責保険、損害保険に加入して、万一の災害に備えている。これらの保険の内、強制保険は、自動車の車検の際に掛けており、対人賠償保険、対物賠償保険、車両保険等の任意保険は、1年毎に掛けている。また、これらの保険は、多くが保険の掛け金（保険料）が安いところから掛け捨てとなっている。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】

このような自動車保険は、自動車を単位として一定期間、特定の料率で算定された事故加算、無事故減算の処理を行って保険加入者に行われている。そして、新車を購入して新たに自動車保険に加入する場合、或いは、保険会社を変更して

新たに自動車保険に加入する場合、過去の保険加入者の個人評価を行うことなく自動車保険の保険料の設定がなされている。

しかしながら、自動車保険は、現実に事故が生じた際に必要なもので、事故が生じない限り不要なものである。また、保険加入者で好き好んで事故を起こす者は、いない。また、自動車での事故を多く起こしている者、スピードを常時出す癖のある者、急ブレーキの回数が異常に多い者とう運転の仕方には、まちまちである。また、自動車を通勤用として利用する者、自動車を営業用として利用する者、自動車の運転は夜間だけに限られる者、自動車の運転は農道のような交通量が極端に少ない場所で行う場合等、いろいろある。このような自動車の運転条件がまちまちであるのにも拘わらず、自動車に掛けた保険に対する保険料は何れも同じ査定となっている。

【0004】

さらに、実際の自動車保険の実行率を見ても、運転能力の高い者は、事故を起こす率が低く、運転条件の緩い場合も事故発生率が低いのが現実である。したがって、自動車の事故発生率は、運転者の運転能力の低い者、運転条件が厳しい場合に高く、自動車保険の実行率も同様な結果になっている。このことから、従来の自動車保険の加入に際し、自動車保険の保険料の設定に当たっては、一律に保険料の設定を行うのは公平性に欠けるという問題があった。

【0005】

本発明の1つの目的は、保険加入者の運転能力に応じて適正な保険内容を設定し、保険加入者の運転能力に応じた適正な保険料を設定することのできる自動車保険の内容設定システムを提供することにある。

【0006】

本発明の他の1つの目的は、保険加入者の乗車する車両の運転条件に応じて適正な保険内容を設定し、保険加入者の乗車する車両の運転条件に応じた適正な保険料を設定することのできる自動車保険の内容設定システムを提供することにある。

【0007】

【課題を解決するための手段】

本発明の1つの特徴は、保険加入者が保険の対象項目と保険の補償内容とを特定して行った自動車保険の加入申込に基づいて、前記保険加入者の運転能力の提示を求め、前記保険加入者から提示された運転能力を算定評価し、前記保険加入者の特定する保険の対象項目と保険の補償内容でなされた保険加入申込に基づいて前記算定評価した前記保険加入者の運転能力に応じて当該自動車保険に対して保険料の算定を行うようにしたことがある。

【0008】

本発明の他の1つの特徴は、保険加入者が保険の対象項目と保険の補償内容とを特定して行った自動車保険の加入申込に基づいて、前記保険加入者の運転条件の提示を求め、前記保険加入者から提示された運転条件を算定評価し、前記保険加入者の特定する保険の対象項目と保険の補償内容でなされた保険加入申込に基づいて前記算定評価した前記保険加入者の運転条件に応じて当該自動車保険に対して保険料の算定を行うようにしたことがある。

【0009】

【発明の実施の形態】

図1は、自動車保険の内容設定システムを実施するための全体構成および情報の送受信関係を示し、図2に、自動車保険の内容設定システムの一実施の形態を示す。

【0010】

図において、保険サービス提供会社20は、保険利用者30に保険契約サービスを行っている。また、保険サービス提供会社20は、保険利用者30に提供を行う保険に関して保険会社10と事業契約を行っている。

【0011】

このような保険会社10は、保険のための情報を保険サービス提供会社20に送る。この送り方として、公衆回線を利用してても良い。また衛星を使用してもよい。一例として保険会社10から保険サービス提供会社20に保険に関する情報を簡単に送信する方法として回線2を使用して保険会社10から提供可能な保険に関する情報を衛星を利用した通信回線5に送り、保険に関する情報を受信した通信回線5から回線3を経由して保険サービス提供会社20に送る方法がある。

この保険会社10は、上述の通り、保険サービス提供会社20と契約によって保険商品を提供するようになっている。

【0012】

保険会社10から保険商品の提供を受けた保険サービス提供会社20は、保険利用者30の要求に基づき希望する保険商品を、回線3を使用して通信中継媒体（例えば、衛星）5に送り、保険利用者30の要求に基づく保険商品を受信した通信中継媒体（例えば、衛星）5から回線6を経由して、例えば保険利用者30が所有するPC31あるいは自動車の車載機器32、携帯端末33等に送る。この自動車の車載機器32は、複数のGPS衛星からの電波を受けて自動車の位置を求め、この求めた位置情報を回線6、通信中継媒体（例えば、衛星）5、回線3を介して保険サービス提供会社20と交信を行うことにより保険サービス提供会社20に伝える。

【0013】

この保険サービス提供会社20は、図20に示す如き構成の処理装置を有している。すなわち、処理装置21は、CPU22を有しており、このCPU22によってあらゆる演算が行われる。このCPU22には、バスラインを介してマンマシンインターフェース23が、また、バスラインを介して各種データベースである記憶装置が接続されている。このマンマシンインターフェース23は、処理装置21の処理（データの書き込み、読み出し等）を行うものである。24は、アンテナで、保険利用者30が所有するPC31あるいは自動車の車載機器32、携帯端末33等や、保険会社10と通信事業者50を介して交信を行うためのものである。また、記憶装置には、会員のデータベース25、一般保険加入者データベース26、自動車保険の内容のデータベース27、プローブ情報（道路情報）データベース28、データメモリエリア29がある。

【0014】

図2において、保険サービス提供会社20は、保険会社10との交信、保険利用者30（車載機器40）との交信にあたって、通信事業者50の公衆回線、衛星等を利用するため、通信事業者50と事業契約を締結する（100）。さらに、保険サービス提供会社20は、保険会社10と保険商品の提供に関する事業契

約を行う（102）。

【0015】

また、保険サービス提供会社20は、保険会社10が提供する自動車保険に加入を希望する者から自動車保険の会員の申込を受理する（104）。この保険利用会員の自動車保険の会員申込があると、保険サービス提供会社20は、会員申込者の必要な個人データを記録して保険利用会員の会員登録処理を行い、会員番号である認証番号（IDコード番号）を特定し、会員証としてのカード（例えば、IDカード、又はカードにICチップが埋め込まれ入力される情報と入力された情報を読み出すことのできるICカード）を作成し（106）、保険申込者に会員登録通知（例えば、IDカードを発行して）を行う（108）。このカードは、ここではICカードとして説明したが、IDカード、ICカード、マルチカード等の会員を特定する個人情報、利用情報が記憶できる媒体で、持ち運びが便利な形態をしたものであれば、どのようなものでもよい。

【0016】

このようにして登録された保険利用会員30は、隨時、保険サービス提供会社20に対して自動車保険の保険加入の申込を行うことができ、自動車保険の保険加入の申込に当たっては、自動車保険加入申込を行う（110）。この保険サービス提供会社20に対して自動車保険加入の申込が行われると、保険サービス提供会社20は、自動車保険の内容（保険の対象項目と保険の補償内容）の提示を行い（112）、自動車保険加入の申込を行った保険利用会員がこれらの自動車保険の内容を見て、自動車保険の内容の特定を行う（114）。この自動車保険の内容の特定を保険利用会員30が行うと、保険サービス提供会社20は、この自動車保険加入の申込を行った保険利用会員30に対して運転能力の問い合わせを行う（116）。すなわち、保険サービス提供会社20は、自動車保険加入の申込を行った保険利用会員30に対して運転能力の提示を求める。この運転能力の提示を求められた保険利用会員30は、保険サービス提供会社20に運転能力の提示を行う。すなわち、運転能力の提示を求められた保険利用会員30は、保険サービス提供会社20に対して保険サービス提供会社20が提示した運転能力項目について回答する（118）。この保険利用会員30からの保険サービス提

供会社20への運転能力の回答結果は、保険サービス提供会社20から保険会社10に通知される(120)。この保険サービス提供会社20からの運転能力の回答結果を受けて保険会社10では、保険加入者の運転能力が保険料にどのように影響するかの評価を行う。

【0017】

また、自動車保険の内容の特定を保険利用会員30が行うと、保険サービス提供会社20は、この自動車保険加入の申込を行った保険利用会員30に対して運転条件の問い合わせを行う(122)。すなわち、保険サービス提供会社20は、自動車保険加入の申込を行った保険利用会員30に対して運転条件の提示を求める。この運転条件の提示を求められた保険利用会員30は、保険サービス提供会社20に運転条件の提示を行う。すなわち、運転条件の提示を求められた保険利用会員30は、保険サービス提供会社20に対して保険サービス提供会社20が提示した運転条件項目について回答する(124)。この保険利用会員30からの保険サービス提供会社20への運転条件の回答結果は、保険サービス提供会社20から保険会社10に通知される(126)。この保険サービス提供会社20からの運転条件の回答結果を受けて保険会社10では、保険加入者の運転条件が保険料にどのように影響するかの評価を行う。

【0018】

これらの保険会社10に通知された保険利用会員30から保険サービス提供会社20に提示された運転能力、または、保険利用会員30から保険サービス提供会社20に提示された運転条件の評価結果に基づいて、保険会社10は、保険加入者の特定する保険の対象項目と保険の補償内容で申込まれた自動車保険に対して保険料の算定を行い、その結果を保険サービス提供会社20に通知する(128)。この保険会社10から通知を受けた保険サービス提供会社20は、保険会社10が算定した自動車保険に対して保険料を保険加入申込者である保険利用会員30に提示し、保険料の請求を行う(130)。この保険料の支払請求を受けた保険利用会員30が提示された自動車保険の保険料の支払額を保険サービス提供会社20に対して承諾すると(132)、保険サービス提供会社20は、特定した自動車保険に加入したことの通知を保険会社10に対して行う(134)。この

保険サービス提供会社20からの通知を受けると、保険会社10は、保険サービス提供会社20に対して当該保険利用会員30の特定した自動車保険への加入を承諾する通知を行う（136）。この保険会社10からの特定した自動車保険への当該保険利用会員30の加入の承諾の通知を受けると、保険サービス提供会社20は、保険利用会員30に対して、自動車保険契約の成立を通知を行う（138）。この保険サービス提供会社20から自動車保険契約の成立を通知を受けると、保険利用会員30は、保険サービス提供会社20に対して、自動車保険の保険料の支払いを行う（140）。この保険サービス提供会社20に保険利用会員30から保険料の支払いがあると、会員登録カードに保険料の登録を行う。これによって保険利用会員30は、保険会社10からの保険サービスを受けられるようになる。

【0019】

保険利用会員30の利用する自動車の車載機器40は、ICカードを挿入することによって保険サービス提供会社20と通信事業者50を介して通信することができる。図3～図4に、自動車の車載機器40を用いた自動車保険の内容設定システムの他の実施の形態を示す。

【0020】

保険利用者30が所有する自動車の車載機器40は、図5に示す如き構成となっている。すなわち、車載機器40は、CPU41を有しており、このCPU41によってあらゆる演算が行われる。このCPU41には、バスラインを介してマンマシンインターフェース42が、また、バスラインを介して送受信装置43が接続されている。このマンマシンインターフェース42は、車載機器40の操作（データの書き込み、読み出し等）を行い、送受信装置43は、マンマシンインターフェース42から入力されたデータ類の送信、保険サービス提供会社20から送信されるデータの受信を、アンテナ44を介して行うものである。また、CPU41には、バスラインを介してI/O45が接続されており、このI/O45には、マンマシンインターフェース42によって入力したデータ類、保険サービス提供会社20から受信したデータを表示するディスプレイ46と、速度センサ、車速センサ、降雨センサ、照度センサ、エンジン温度センサ、エンジン回

転センサ、前照灯・フォグランプ点灯センサ、室内温度センサ等の各種センサ47が接続されている。さらに、CPU41には、バスラインを介してGPS受信機48が接続されており、このGPS受信機48によってGPS衛星からの位置信号をアンテナ49を介して受信できるようになっている。

【0021】

図3～図4において、保険サービス提供会社20は、保険会社10が提供する自動車保険に加入を希望する者から自動車保険の会員の申込を通信事業者50を介して(152)、車載機器40から受理する(154)。この保険利用会員30の車載機器40から申込があると、保険サービス提供会社20は、保険申込者の必要な個人データを記録して保険利用会員の会員登録処理を行い、会員番号である認証番号(IDコード番号)を特定し、会員証としてのカード(例えば、IDカード、又はカードにICチップが埋め込まれ入力される情報と入力された情報を読み出すことのできるICカード)を作成し(156)、保険申込者に会員登録通知(例えば、IDカードを発行して)を通信事業者50を介して(158)、車載機器40に送信して行う(160)。車載機器40からの会員の加入申込みの場合、ICカードは、郵送等の手段で保険申込者に交付する。このカードは、ここではICカードとして説明したが、IDカード、ICカード、マルチカード等の会員を特定する個人情報、利用情報が記憶できる媒体で、持ち運びが便利な形態をしたものであれば、どのようなものでもよい。

【0022】

このようにして登録された保険利用会員30は、隨時、保険サービス提供会社20に対して自動車保険の保険加入の申込を行うことができ、自動車保険加入の申込に当たっては、自動車保険加入申込を通信事業者50を介して(162)、車載機器40から行う(164)。この保険サービス提供会社20に対して自動車保険加入の申込が行われると、保険サービス提供会社20は、自動車保険の内容(保険の対象項目と保険の補償内容)の提示を通信事業者50を介して(166)、車載機器40から行い(168)、自動車保険加入の申込を行った保険利用会員がこれらの自動車保険の内容を見て、自動車保険の内容の特定を通信事業者50を介して(170)、車載機器40から行う(172)。この自動車保険

の内容の特定を保険利用会員30が行うと、保険サービス提供会社20は、この自動車保険加入の申込を行った保険利用会員30に対して運転能力の問い合わせを通信事業者50を介して（174）、車載機器40から行う（176）。すなわち、保険サービス提供会社20は、自動車保険加入の申込を行った保険利用会員30に対して運転能力の提示を求める。この運転能力の提示を求められた保険利用会員30は、保険サービス提供会社20に運転能力の提示を通信事業者50を介して（178）、車載機器40から行う（180）。すなわち、運転能力の提示を求められた保険利用会員30は、保険サービス提供会社20に対して保険サービス提供会社20が提示した運転能力項目について回答する。この保険利用会員30からの保険サービス提供会社20への運転能力の回答結果は、保険サービス提供会社20から保険会社10に通知される（182）。この保険サービス提供会社20からの運転能力の回答結果を受けて保険会社10では、保険加入者の運転能力が保険料にどのように影響するかの評価を行う。

【0023】

また、保険サービス提供会社20に対して保険利用会員30から自動車保険加入の申込が行われると、保険サービス提供会社20から自動車保険の内容（保険の対象項目と保険の補償内容）の提示（166、168）、保険利用会員30から自動車保険の内容の特定（170、172）が行われ、保険サービス提供会社20は、この自動車保険加入の申込を行った保険利用会員30に対して運転条件の問い合わせを通信事業者50を介して（184）、車載機器40から行う（186）。すなわち、保険サービス提供会社20は、自動車保険加入の申込を行った保険利用会員30に対して運転条件の提示を求める。この運転条件の提示を求められた保険利用会員30は、保険サービス提供会社20に運転条件の提示を通信事業者50を介して（188）、車載機器40から行う（190）。すなわち、運転条件の提示を求められた保険利用会員30は、保険サービス提供会社20に対して保険サービス提供会社20が提示した運転条件項目について回答する。この保険利用会員30からの保険サービス提供会社20への運転条件の回答結果は、保険サービス提供会社20から保険会社10に通知される（192）。この保険サービス提供会社20からの運転条件の回答結果を受けて保険会社10では

、保険加入者の運転条件が保険料にどのように影響するかの評価を行う。

【0024】

これらの保険会社10に通知された保険利用会員30から保険サービス提供会社20に提示された運転能力、または、保険利用会員30から保険サービス提供会社20に提示された運転条件の評価結果に基づいて、保険会社10は、保険加入者の特定する保険の対象項目と保険の補償内容で申込まれた自動車保険に対して保険料の算定を行い、その結果を保険サービス提供会社20に通知する（194）。この保険会社10から通知を受けた保険サービス提供会社20は、保険会社10が算定した自動車保険に対して保険料を保険加入申込者である保険利用会員30に提示し、保険料の請求を通信事業者50を介して（196）、車載機器40から行う（198）。この保険料の支払請求を受けた保険利用会員30が提示された自動車保険の保険料の支払額を保険サービス提供会社20に対して通信事業者50を介して（200）、車載機器40から承諾すると（202）、保険サービス提供会社20は、特定した自動車保険に加入したことの通知を保険会社10に対して行う（204）。この保険サービス提供会社20からの通知を受けると、保険会社10は、保険サービス提供会社20に対して当該保険利用会員30の特定した自動車保険への加入を承諾する通知を行う（206）。この保険会社10からの特定した自動車保険への当該保険利用会員30の加入の承諾の通知を受けると、保険サービス提供会社20は、保険利用会員30に対して、自動車保険契約の成立の通知を通信事業者50を介して（208）、車載機器40から行う（210）。この保険サービス提供会社20から自動車保険契約の成立を通知を受けると、保険利用会員30は、保険サービス提供会社20に対して、自動車保険の保険料の支払いを行う（212）。この保険サービス提供会社20に保険利用会員30から保険料の支払いがあると、会員登録カードに保険料の登録を行う。これによって保険利用会員30は、保険会社10からの保険サービスを受けられるようになる。

【0025】

次に会員の申込みに基づく保険サービスの提供を希望する保険利用会員30側と保険サービス提供会社20側の会員登録の処理フローについて図6を用いて説

明する。

【0026】

図において、保険会社10の提供する自動車保険の提供を希望する者（保険利用会員30）は、保険サービス提供会社20に会員登録をする必要がある。この保険サービス提供会社20に会員登録を希望する者（保険利用会員30）は、ステップ302において、PC31、車載機器32、携帯端末33等の端末機器を用いて保険サービス提供会社20を呼び出す。このステップ302において会員登録を希望する者が保険サービス提供会社20を呼び出す（アクセスする）と、ステップ304において、保険サービス提供会社20は応答し、会員登録を希望する者（保険利用会員30）に対しメニュー送信を行う。

【0027】

すると、ステップ306において、会員登録を希望する者（保険利用会員30）側のPC31、車載機器32、携帯端末33等の端末機器には、図9に示す如き「新規会員登録か？」のメッセージ画面が表示される。このステップ306において、会員登録を希望する者（保険利用会員30）が図9に示されるメッセージ画面で「NO」を選択（クリック）すると、ステップ308において別な処理が行われる。また、このステップ306において図9に示されるメッセージ画面で「YES」を選択（クリック）すると、ステップ310において、保険サービス提供会社20に対して会員登録を希望する者（保険利用会員30）は会員登録の申込を行うことになる。

【0028】

この会員登録を希望する者（保険利用会員30）からの保険サービス提供会社20に対する会員登録の申込は、保険サービス提供会社20に送信される。この会員登録を希望する者（保険利用会員30）からの会員登録の申込を受けると、保険サービス提供会社20では、ステップ312において、会員登録を希望する者（保険利用会員30）に対し、図10に示す如き、会員登録のために必要な入力事項（利用者氏名、住所、職業、連絡先、年齢、性別、家族構成、運転歴（免許取得年月）、その他（趣味・趣向、銀行口座名）等）の入力を行う画面表示データを送信する。すると、会員登録を希望する者（保険利用会員30）側では、

ステップ314において、この入力画面表示データを受信する。そして、ステップ316において、この受信した入力画面表示データに基づいて会員登録のために必要な入力事項の入力を行い保険サービス提供会社20に送信する。

【0029】

保険サービス提供会社20側では、ステップ318において、この必要な入力事項の入力を行った入力画面表示データを受信し、ステップ320において、会員登録の入力（会員Noの付与）を行い、図19に示す如き会員登録カード60の作成を行う。そして、ステップ322において、保険サービス提供会社20側では、図20に図示の会員データベース25に保険利用会員として会員登録のために必要な入力事項を格納して会員登録を行い、保険利用会員としてのIDコードの割り当てを行い会員登録を希望する者（保険利用会員30）に対しIDコードの付与を行う。この保険利用会員として会員登録のために必要な入力事項の入力、IDコードの付与が行われると、保険サービス提供会社20側は、ステップ322において、会員登録を希望する者（保険利用会員30）に対し、保険利用会員として登録されたことを示す会員としての登録通知書を、図11に示す如く

「会員として登録されました。

貴方の会員番号とIDコードは次のとおりです。

会員番号：○○○○○

IDコード：△△△△△△

という表示画面として送信する。この保険サービス提供会社20からの会員としての登録通知書の送信を受けて、会員登録を希望する者（保険利用会員30）は、ステップ324において、会員としての登録通知書を受領したことの報告を保険サービス提供会社20に送信し、処理フローを終了する。この一連の動作フローが終了すると、会員登録を希望する者は、保険サービス提供会社20における保険利用会員となる。

【0030】

次に保険利用会員30の保険サービス提供会社20に対する自動車保険の加入申込みに基づく自動車保険加入の保険利用会員30側の処理フローについて図7

を用いて説明する。

【0031】

図7において、保険利用会員30は、保険会社10から提供される自動車保険に加入することを希望した場合、ステップ402において、保険サービス提供会社20に対して自動車保険加入の申込のアクセスをPC31、車載機器32、携帯端末33等の端末機器から行う。この自動車保険加入の申込みが行われると、保険利用会員30は、ステップ404において、自動車保険加入者の特定を行うため、会員No.、IDコードの提示を行う。この会員No.、IDコードの提示に基づいて、保険サービス提供会社20では、会員データベース25に登録されている保険利用会員30の個人データを検索し、保険利用会員であることの確認をとる。保険利用会員であることの確認がとれる（自動車保険に加入の申込を行う）と、保険サービス提供会社20からは、図12に示す如く、「自動車保険に加入ですか」のメッセージ画面が送信されてくる。そこで保険利用会員30は、図12に示されるメッセージ画面で「YES」を選択（クリック）すると、保険サービス提供会社20からは、図13に示す如く、

「次の事項を入力して下さい。

【0032】

1. メーカー名
2. 車種
3. グレード
4. タイプ
5. 排気量
6. 初年度登録年月
7. 登録番号
8. 総走行距離
9. その他

」

という自動車保険に加入する車両の情報を入力するメッセージ画面が送信されてくる。

【0033】

この図13に示されるメッセージ画面のメーカー名は、自動車の製造メーカーで、日本国、米国、仏国等がある。また、図13に示されるメッセージ画面の車種は、各メーカーが自動車に付けている名称である。また、図13に示されるメッセージ画面のグレードは、各メーカーが自動車の名称毎にランクを付けて表示しているものである。さらに図13に示されるメッセージ画面のタイプは、各自動車の特徴を示すもので、例えば、4ドアハードトップ等である。また、図13に示されるメッセージ画面の排気量は、各自動車に各メーカーが表示しているエンジン排気量で、例えば、3000CCの如きものである。さらに、図13に示されるメッセージ画面の初年度登録年は、各自動車を最初に陸運局に登録した年月で、例えば、平成13年3月の如きものである。また、図13に示されるメッセージ画面の登録番号は、各自動車を陸運局に登録したときに付けられる登録番号年月で、各自動車にナンバープレートに表示されるもので、例えば、「練馬33-12-34」等である。さらに、図13に示されるメッセージ画面の総走行距離は、自動車が今まで走行した距離でスピードメータに示されている距離である。保険利用会員30は、このステップ406において、この保険サービス提供会社20から送信されてきた車両情報の入力を行う。

【0034】

このステップ406において車両情報の入力を行うと、保険サービス提供会社20からは、図14に示す如く、

「加入を希望する自動車保険の内容を入力して下さい。

【0035】

1. 対人賠償

- 無制限
- 万円

2. 対物賠償

- 万円まで
- 万円～○○○万円

3. 自己賠償

- 万円まで

○○万円～○○○万円

4. 同乗者賠償

無制限

○○○○万円

5. 運転者特定

有り

無し

6. 運転者年齢制限

無制限

30歳以上

」

という加入する自動車保険を特定する自動車保険の内容を入力するメッセージ画面が送信されてくる。

【0036】

この図14に示されるメッセージ画面の対人賠償は、人身事故を起こしたときの相手方負傷者等に対する金銭賠償のことで、保障内容としては、無制限、○○○○万円以下の補償がある。また、図14に示されるメッセージ画面の対物賠償は、自動車事故で相手方の自動車の修理等に対する金銭賠償のことで、保障内容としては、○○○万円まで補償、○○万円～○○○万円補償等である。また、図14に示されるメッセージ画面の自己賠償は、自動車事故で破損した自分の自動車を修理する金銭補償のことで、保障内容としては、○○○万円まで補償、○○万円～○○○万円補償等である。また、図14に示されるメッセージ画面の同乗者賠償は、自動車事故で同乗者が負傷した場合に同乗者に補償するもので、保障内容としては、無制限、○○○○万円以下の補償がある。さらに、図14に示されるメッセージ画面の運転者特定は、保険対象自動車を運転する人を特定するもので、例えば、保険契約した人だけ等である。またさらに、図14に示されるメッセージ画面の運転者年齢制限は、保険対象自動車を運転する人の年齢を限定して該当しない者が運転したときには補償しないというもので、例えば、「無制限、30歳以上」等である。保険利用会員30は、この保険サービス提供会社20から送信されてきた図14に示されるメッセージ画面にしたがって、自動車保険

の内容（保険の対象項目と保険の補償内容）の特定を行う（ステップ408）。

【0037】

このステップ408において自動車保険の内容の特定を行うと、保険サービス提供会社20から自動車保険加入の申込を行った保険利用会員30の運転能力を問い合わせる図15に示す如く、

「次の事項を入力して下さい。

【0038】

1. 事故歴
2. 交通違反歴
3. スピード違反歴
4. 急ブレーキ使用率
5. 急ハンドル使用率
6. その他

」

というメッセージ画面が送信されてくる。

【0039】

この図15に示される保険利用会員30の運転能力を示すメッセージ画面の事故歴は、保険に加入する者の過去に起こした事故で、例えば、接触事故等である。また、図15に示される保険利用会員30の運転能力を示すメッセージ画面の交通違反歴は、保険に加入する者の過去に起こした交通違反で、警察の処分（反則金、罰金）を受けたもの等である。また、図15に示される保険利用会員30の運転能力を示すメッセージ画面のスピード違反歴は、交通違反の中で最も重大な事故に結びつきやすいもので、スピード違反の回数を示したものである。また、図15に示される保険利用会員30の運転能力を示すメッセージ画面の急ブレーキ使用率は、1回の運転中でブレーキを使用する回数の内の急ブレーキを使用する割合で、急ブレーキは、重大な事故を引き起こす原因になるものため重要なものとなる。このブレーキの使用回数、急ブレーキの使用回数は、自動車にブレーキセンサーを付けておき、保険サービス提供会社20でポーリングして取り込むことにより容易に知ることができる。さらに、図15に示される保険利用会員30の運転能力を示すメッセージ画面の急ハンドル使用率は、1回の運転

中で急ハンドルを使用する回数で、急ハンドルは、重大な事故を引き起こす原因になるものであるため重要なものとなる。この急ハンドルの使用回数は、自動車にハンドルセンサーを付けておき、保険サービス提供会社20でポーリングして取り込むことにより容易に知ることができる。保険利用会員30は、この図15に示されるメッセージ画面にしたがって、ステップ410において、運転能力の入力を行う。

【0040】

このステップ410において、運転能力の入力を行うと、保険サービス提供会社20からは、図16に示す如く、

「次の事項を入力して下さい。

【0041】

1. 修理歴
2. 定期点検実施率
3. 整備状態
4. 製造年月
5. 多走行地域
6. その他

」

という自動車の運転条件を入力するメッセージ画面が送信されてくる。

【0042】

この図16に示される保険利用会員30の運転条件を示すメッセージ画面の修理歴は、保険に加入する自動車の過去に修理した回数で、事故によるものとは限らない。また、図16に示される保険利用会員30の運転条件を示すメッセージ画面の定期点検実施率は、保険に加入する自動車について定期点検（法廷点検を含む）の割合を示したものである。また、図16に示される保険利用会員30の運転条件を示すメッセージ画面の整備状態は、保険に加入する自動車に現在修理を要する箇所がないか、整備点検で新品の部品を使用しているか等である。また、図16に示される保険利用会員30の運転条件を示すメッセージ画面の製造年月は、保険に加入する自動車が実際に製造された年月で、製造された年月が古くなると自動車の状態が少しづつ劣化していくので重要なものとなっている。これ

は、陸運局に登録された年月ではない。さらに、図16に示される保険利用会員30の運転条件を示すメッセージ画面の多走行地域は、保険に加入する自動車が多く走行した地域が、海辺だと自動車の腐食が早いので重要なことである。保険利用会員30は、この図16に示されるメッセージ画面にしたがって、ステップ412において、運転条件の入力を行う。この運転条件の問い合わせは、図15に示される運転能力の問い合わせと一緒にあっても良く、運転条件の問い合わせと運転能力の問い合わせのいずれかであっても良い。

【0043】

このステップ412において、運転条件の入力を行うと、保険サービス提供会社20においては、入力された運転能力、運転条件を既存の保険料にどのように影響するかの評価を行う。すなわち、保険加入者の運転能力が、保険加入者の平均の運転能力より低い場合は、事故発生率が高くなると判断され保険料の増額になり、保険加入者の運転能力が、保険加入者の平均の運転能力より高い場合は、事故発生率が低くなると判断され保険料の減額となる。同様に、自動車の運転条件が、保険加入者の平均の運転条件より悪い場合は、事故発生率が高くなると判断され保険料の増額になり、自動車の運転条件が、保険加入者の平均の運転条件より良い場合は、事故発生率が低くなると判断され保険料の減額となる。このような保険サービス提供会社20における評価に基づいて、保険利用会員30は、ステップ414において、保険の内容で決まる保険料に基づいて保険の加入申込者の個人情報、保険加入車両の消耗情報、保険加入者の運転能力、安全運転情報（保険利用会員30の運転能力）、保険加入車両の使用状況（保険利用会員30運転条件）に基づく増減要素を算出して加減算して求めた保険料が、保険サービス提供会社20から、図17に示す如く、

「貴方の加入する自動車保険の支払保険料の総合計は

○○○○○円

になります。

契約を締結しますか？

」

という自動車保険の支払保険料を提示するメッセージ画面が送信されてくる。

【0044】

このステップ414において保険料の請求額を受領し、この保険の請求金額を保険利用会員30が了解、すなわち、図17に示されるメッセージ画面で「YES」を選択（クリック）することによって、保険サービス提供会社20から自動車保険の契約成立の通知がなさ、保険利用会員30は、ステップ416において自動車保険の契約成立の受領を行う。そして、保険サービス提供会社20からは、図18に示す如く、「保険料をお支払い下さい。」という自動車保険の支払保険料の請求のメッセージ画面が送信され、保険利用会員30は、この自動車保険の支払保険料の請求のメッセージ画面を受領する。そして、保険利用会員30は、保険料の支払いを了承、すなわち、図18に示されるメッセージ画面で「YES」を選択（クリック）することによって、自動車保険の契約は成立する。この図18に示されるメッセージ画面で「YES」を選択（クリック）することによって保険利用会員30には、自動車保険の保険料の支払い義務が生じ、保険利用会員30は、ステップ418において、保険サービス提供会社20に請求された保険料の支払を行い、このフローを終了する。

【0045】

次に保険利用会員30の保険サービス提供会社20に対する自動車保険の加入申込みに基づく自動車保険加入の保険サービス提供会社20側の処理フローについて図8を用いて説明する。

【0046】

図8において、保険サービス提供会社20は、保険利用会員30が保険会社10から提供される自動車保険に加入することを希望した場合、ステップ502において、保険利用会員30からの自動車保険に加入申込を受領する。このステップ502において保険利用会員30からの自動車保険に加入申込を受領すると、ステップ504において、自動車保険加入者の特定を行うため、会員No.、IDコード等の保険加入申込者の個人情報の問い合わせを行う。この会員No.、IDコードの問い合わせに基づいて保険加入申込者から個人情報が提示されると、この提示された個人情報に基づいて、保険サービス提供会社20では、図20に図示の会員データベース25に登録されている保険利用会員30の個人データを検索し、保険利用会員であることの確認をとると同時に当該保険利用会員の個人デ

ータを読み出す。

【0047】

この保険利用会員であることの確認がとれる（自動車保険に加入の申込を行う）と、保険サービス提供会社20からは、図12に示す如く、「自動車保険に加入ですか」のメッセージ画面を保険利用会員30に送信し、保険利用会員30が、図12に示されるメッセージ画面で「YES」を選択（クリック）すると、保険サービス提供会社20は、ステップ506において、保険加入車両の情報の問い合わせを、図13に示す如き自動車保険に加入する車両の情報を入力するメッセージ画面を送信して行う。この図13に示されるメッセージ画面の入力を保険利用会員30が行い、保険サービス提供会社20が保険利用会員30からの入力を受領すると、保険サービス提供会社20は、ステップ508において、保険利用会員30に対し、図14に示す如き自動車保険を特定する自動車保険の内容を入力するメッセージ画面を送信する。この図14に示す如き自動車保険を特定する自動車保険の内容を入力するメッセージ画面を受信した保険利用会員30が自動車保険の内容を入力すると、保険サービス提供会社20は、ステップ510において、保険利用会員30からの入力結果を受信する。

【0048】

このステップ510において保険利用会員30からの自動車保険の内容の入力結果を受信すると、保険サービス提供会社20は、ステップ512において、保険利用会員30に対し、図15に示す如き保険利用会員30の運転能力を問い合わせるメッセージ画面を送信する。この図15に示す如き保険利用会員30の運転能力を問い合わせるメッセージ画面を受信した保険利用会員30が運転能力を入力すると、保険サービス提供会社20は、ステップ514において、保険利用会員30からの運転能力の入力結果を受信する。このステップ514において保険利用会員30からの運転能力の入力結果を受信すると、保険サービス提供会社20は、ステップ516において、保険利用会員30に対し、図16に示す如き保険利用会員30の自動車の運転条件を問い合わせるメッセージ画面を送信する。この図16に示す如き保険利用会員30の自動車の運転条件を問い合わせるメッセージ画面を受信した保険利用会員30が運転条件を入力すると、保険サービ

ス提供会社20は、ステップ518において、保険利用会員30からの自動車の運転条件の入力結果を受信する。

【0049】

保険サービス提供会社20においては、ステップ514において運転能力の入力が、ステップ518において運転条件の入力が行われると、この入力を受けて保険サービス提供会社20において既存の保険料にどのように影響するかの評価を行う。この評価に基づいて、保険サービス提供会社20では、ステップ522において、保険の内容で決まる保険料に基づいて保険の加入申込者の個人情報、保険加入車両の消耗情報、保険加入者の運転能力、安全運転情報（保険利用会員30の運転能力）、保険加入車両の使用状況（保険利用会員30運転条件）に基づく増減要素を算出して加減算して保険料を算定し、この支払保険料を保険利用会員30に図17に示す如き自動車保険の支払保険料を示すメッセージ画面を送信して行う。この送信を受けて保険の請求金額を保険利用会員30が了解、すなわち、図17に示されるメッセージ画面において「YES」が選択（クリック）されると、保険サービス提供会社20は、ステップ524において、自動車保険の支払保険料の了解の受領する。このステップ524において自動車保険の支払保険料の了解を受領すると、保険サービス提供会社20は、ステップ526において、保険利用会員30に自動車保険の契約成立の通知を行い、図18に示す如き自動車保険の保険料の支払請求のメッセージ画面を送信する。この図18に示されるメッセージ画面を受信した保険利用会員30が保険料の支払いを了承し、保険サービス提供会社20に請求された保険料の支払を行い、保険サービス提供会社20がこの保険料を受け取ると、ステップ528において、保険利用会員30に対し、支払保険料の受取を通知し、このフローを終了する。

【0050】

【発明の効果】

以上説明したように本発明に係る自動車保険の内容設定システムによれば、保険加入者の運転能力に応じて適正な保険内容を設定し、保険加入者の運転能力に応じた適正な保険料を設定することができる。

【0051】

また、本発明に係る自動車保険の内容設定システムによれば、保険加入者の乗車する車両の運転条件に応じて適正な保険内容を設定し、保険加入者の乗車する車両の運転条件に応じた適正な保険料を設定することができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】

自動車保険の内容設定システムを実施するための全体構成および情報の送受信関係を示す図である。

【図2】

保険利用会員の端末機器を用いて実行する場合の本発明の実施の形態を示す自動車保険の内容設定システム構成図である。

【図3】

保険利用会員の自動車端末機器（車載機器）を用いて実行する場合の本発明の実施の形態を示す自動車保険の内容設定システム構成図である。

【図4】

保険利用会員の自動車端末機器（車載機器）を用いて実行する場合の本発明の実施の形態を示す自動車保険の内容設定システム構成図である。

【図5】

保険利用会員が所有する自動車の車載機器の構成図である。

【図6】

保険利用会員の会員登録を行う場合の保険利用会員側と保険サービス提供会社側の通信状態を示す処理フローチャートである。

【図7】

保険利用会員が自動車保険に加入する場合の保険利用会員側の処理フローチャートである。

【図8】

保険利用会員が自動車保険に加入する場合の保険サービス提供会社側の処理フローチャートである。

【図9】

保険利用者の会員登録申込みの処理画面を示す図である。

【図10】

保険利用者の会員登録の申込時の個人情報の入力処理画面を示す図である。

【図11】

保険利用者の会員登録通知の処理画面を示す図である。

【図12】

保険利用会員が自動車保険を申込んだ際の確認の処理画面を示す図である。

【図13】

保険利用会員が自動車保険に加入する車両情報を入力処理画面を示す図である

【図14】

保険利用会員が加入する自動車保険を特定する自動車保険の内容入力申処理画面を示す図である。

【図15】

保険利用会員の運転能力の入力処理画面を示す図である。

【図16】

保険利用会員の運転条件の入力処理画面を示す図である。

【図17】

自動車保険の支払保険料の総合計金額の提示画面を示す図である。

【図18】

自動車保険の契約の意思を確認するための表示画面を示す図である。

【図19】

自動車保険の保険締結完了の表示画面を示す図である。

【図20】

保険サービス提供会社の処理装置の構成図である。

【図21】

保険利用会員の会員登録カードを示す図である。

【符号の説明】

10 保険会社

20 保険サービス提供会社

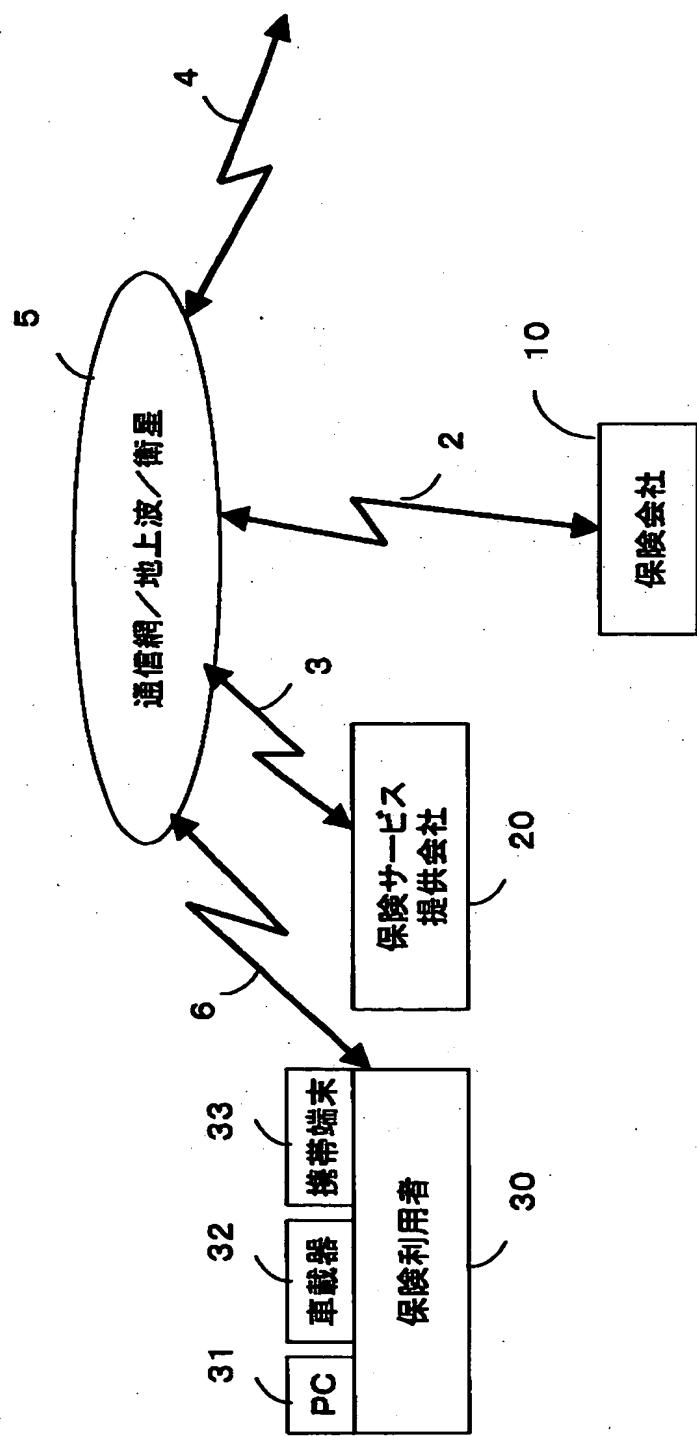
30 保険利用会員

40 車載機器

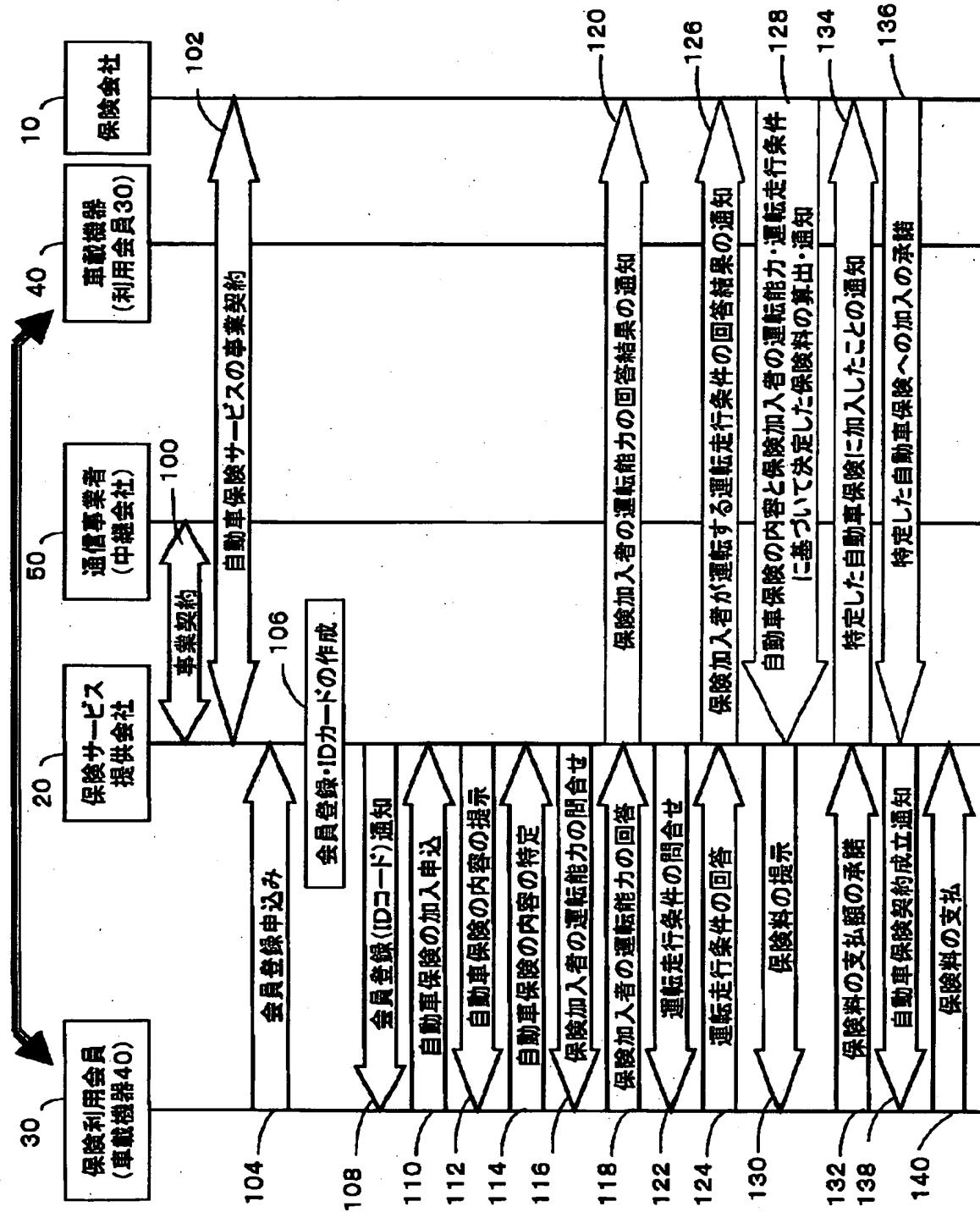
50 通信事業者

【書類名】 図 面

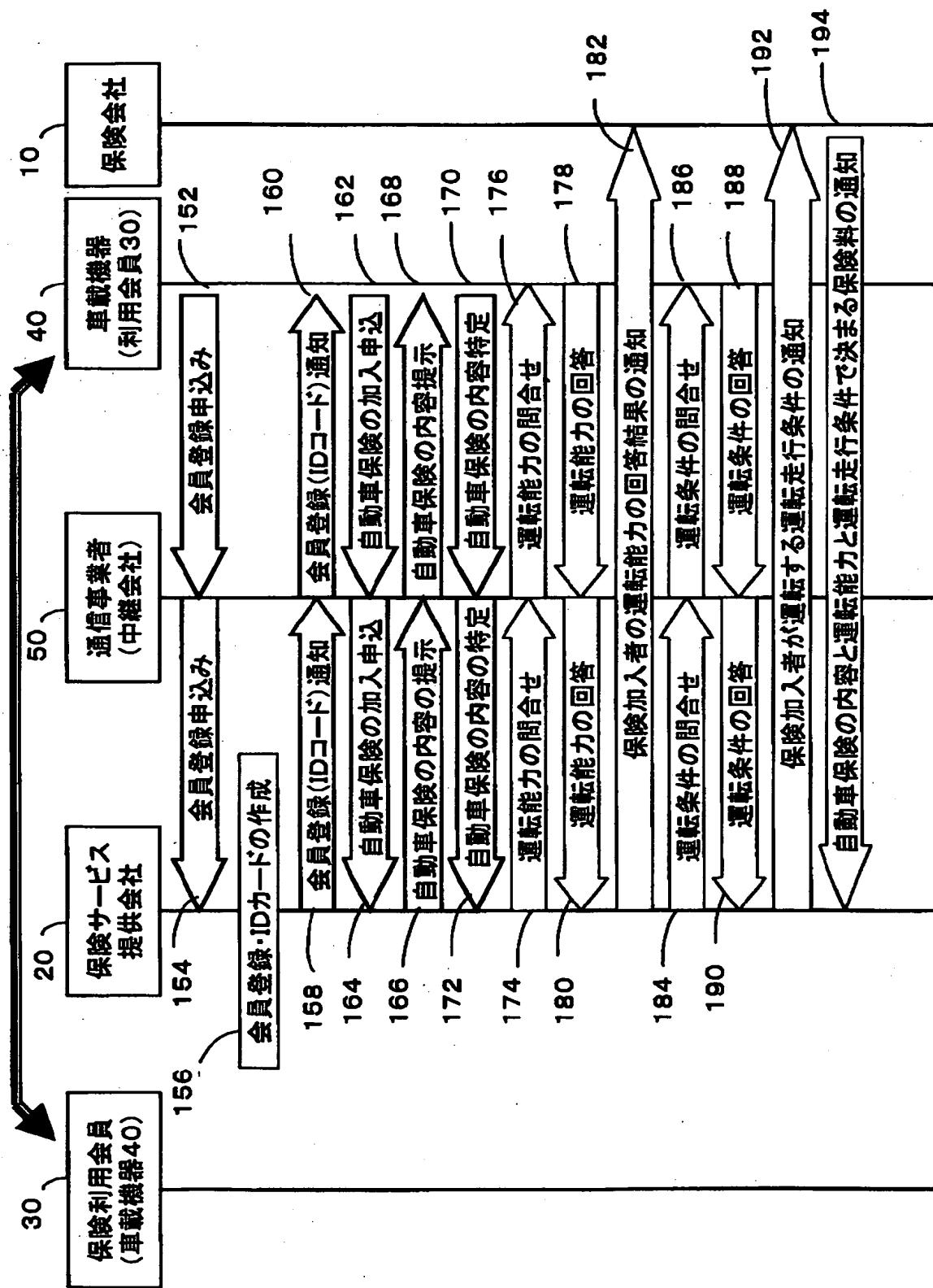
【図1】



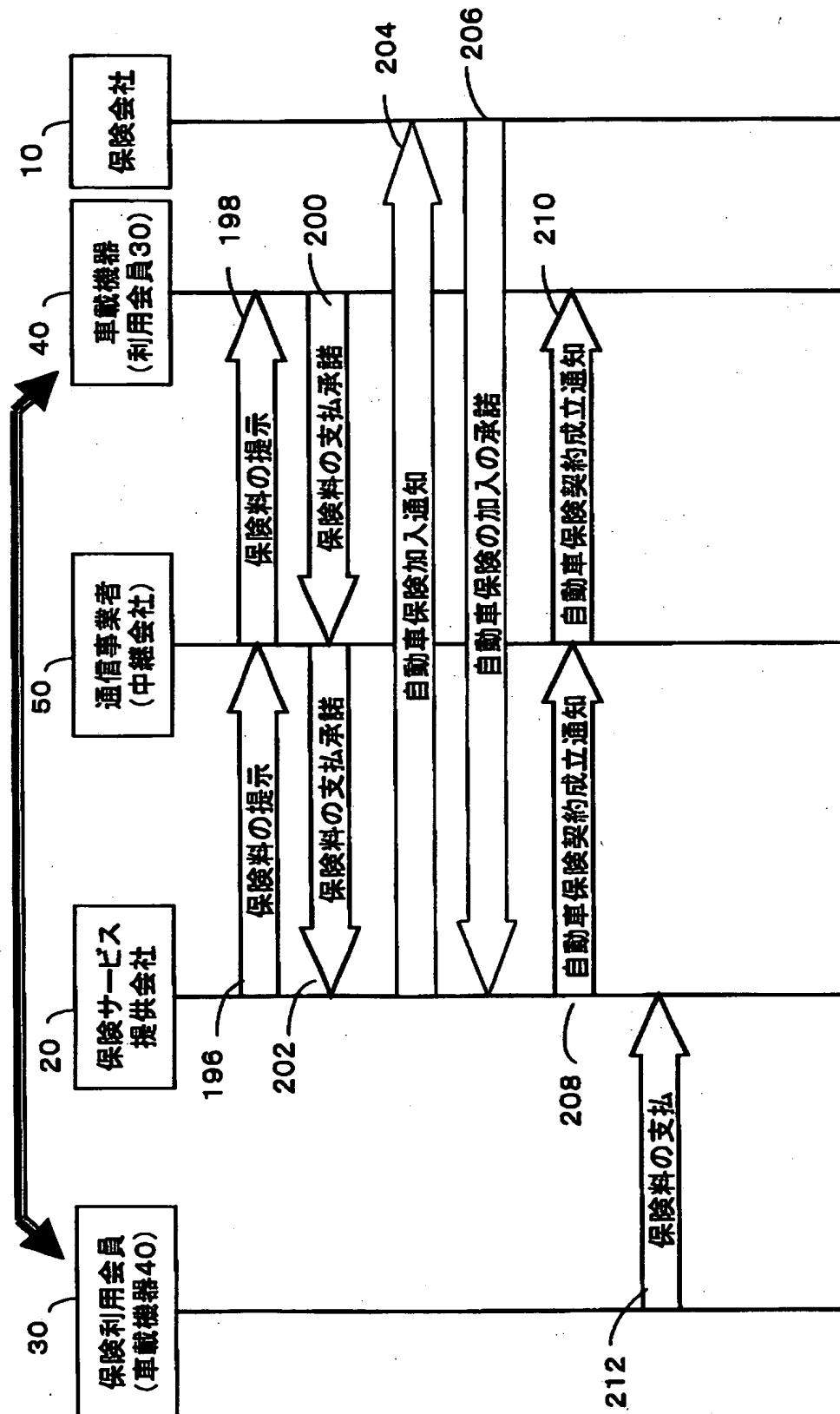
【図2】



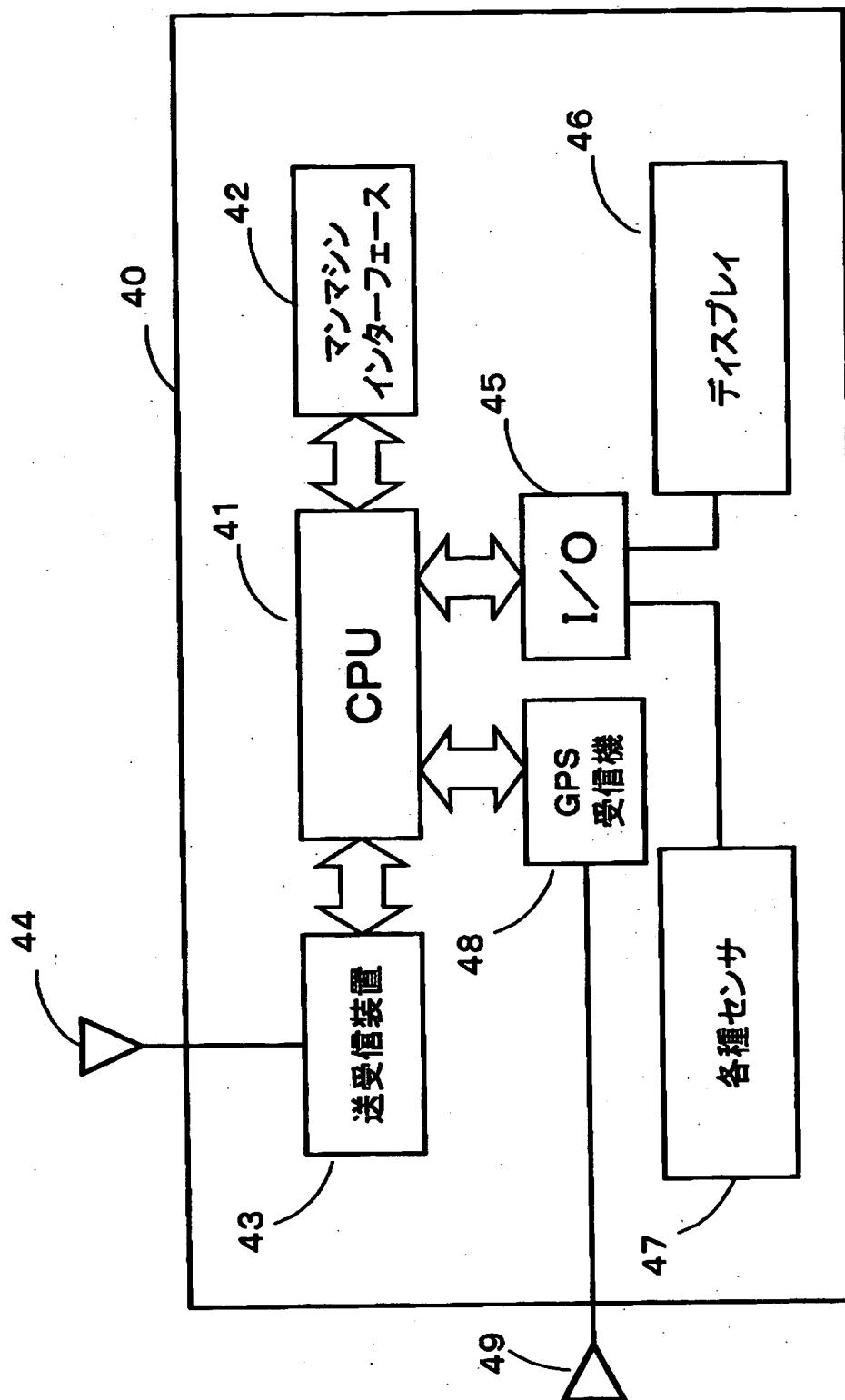
【図3】



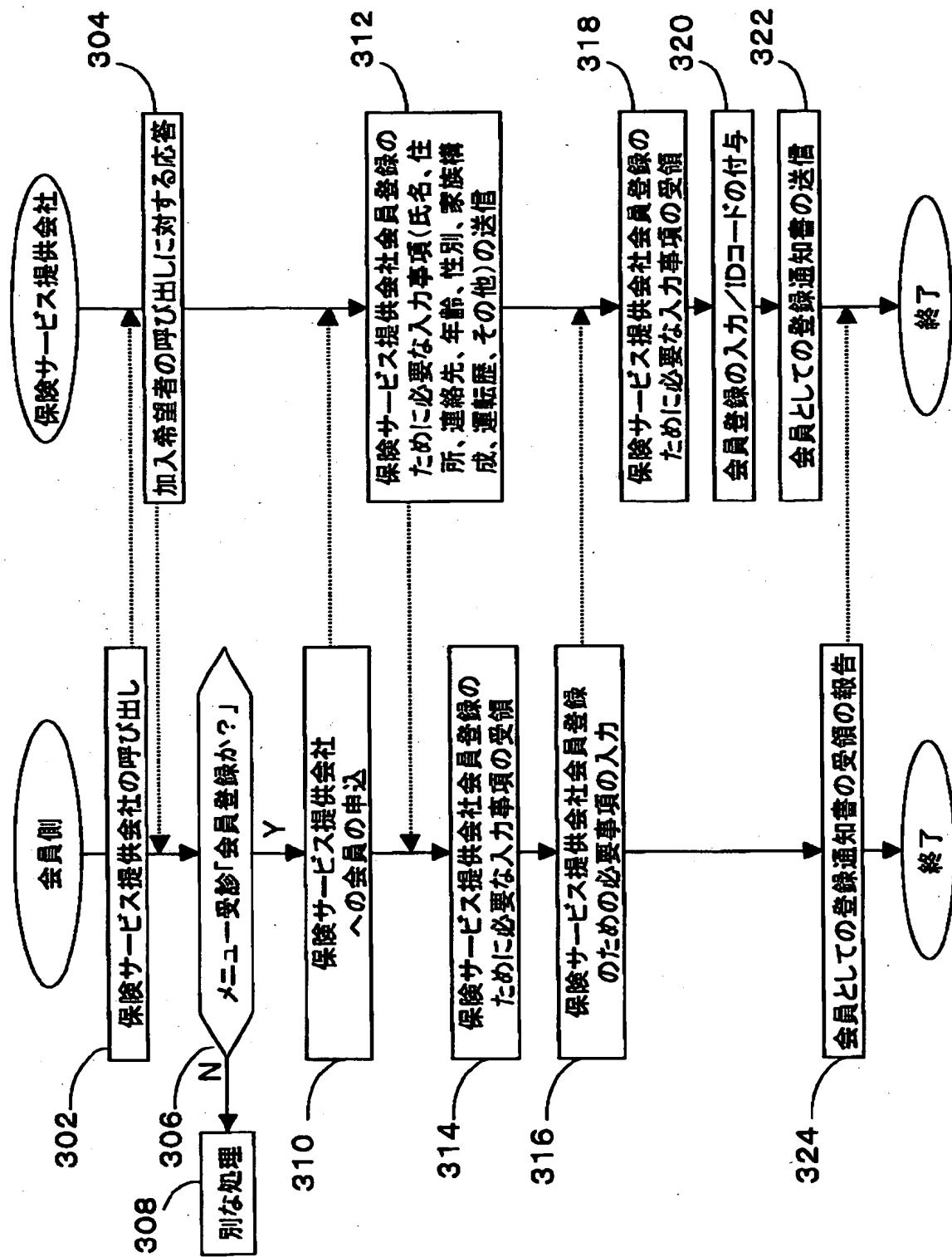
【図4】



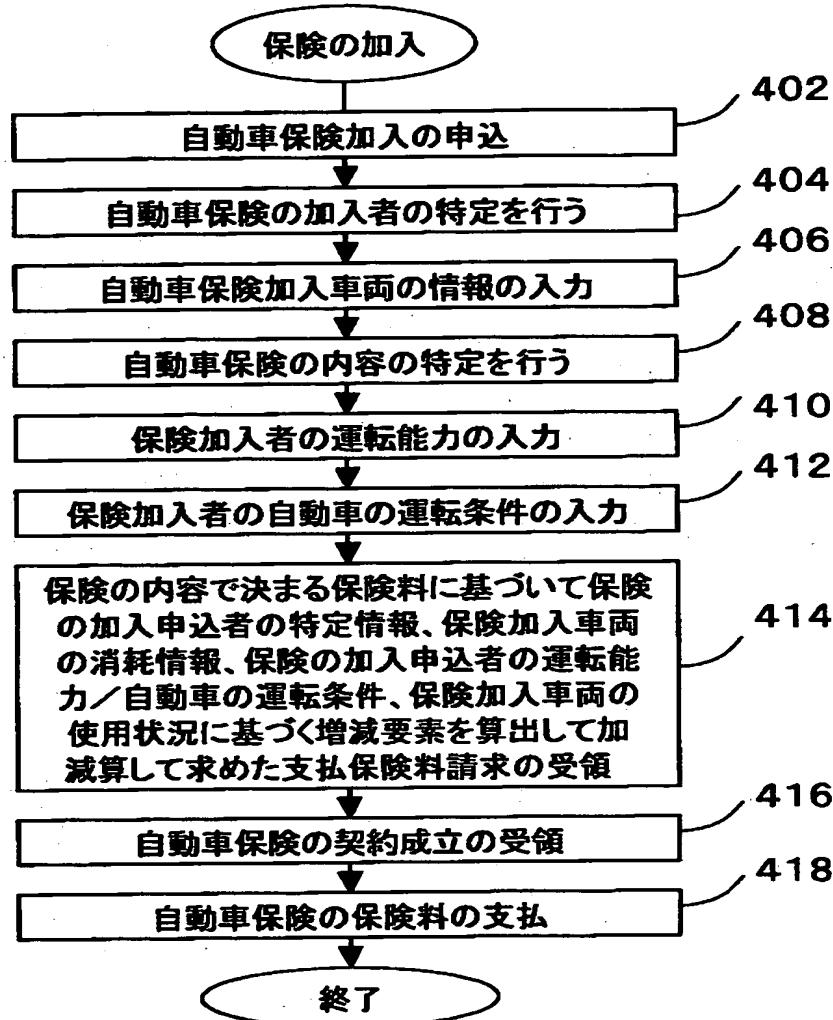
【図5】



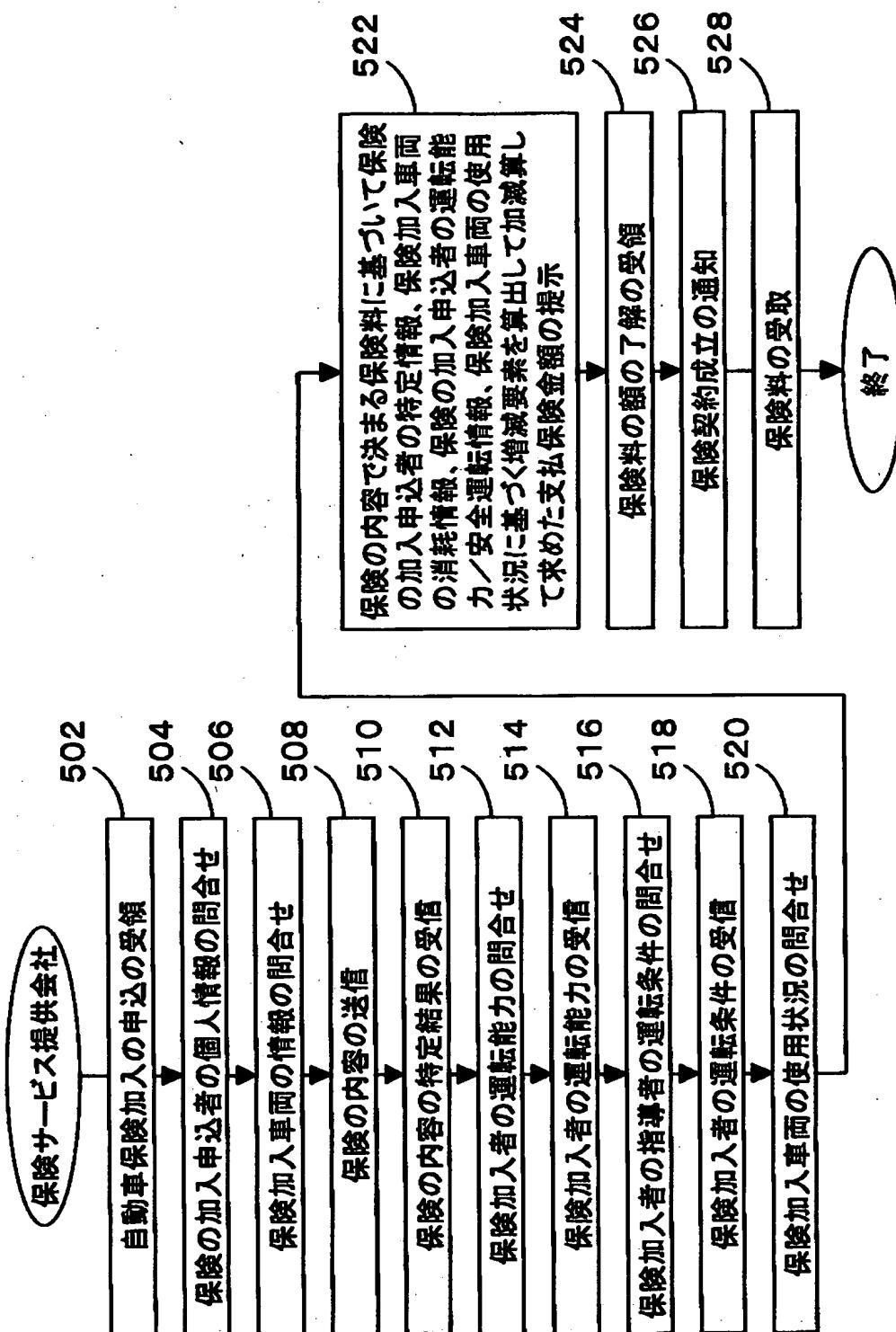
【図6】



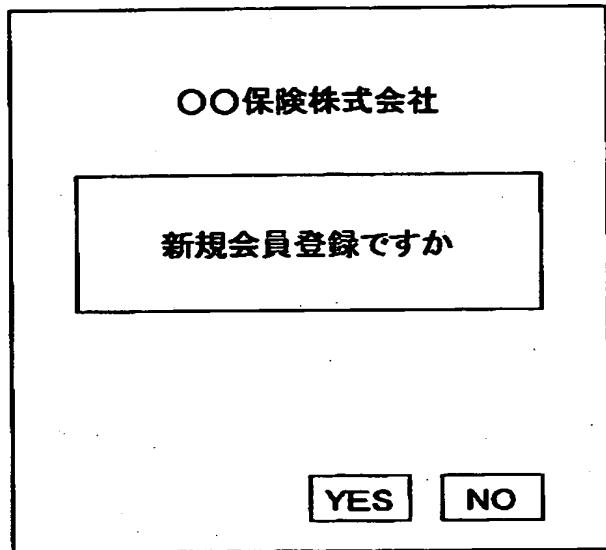
【図7】



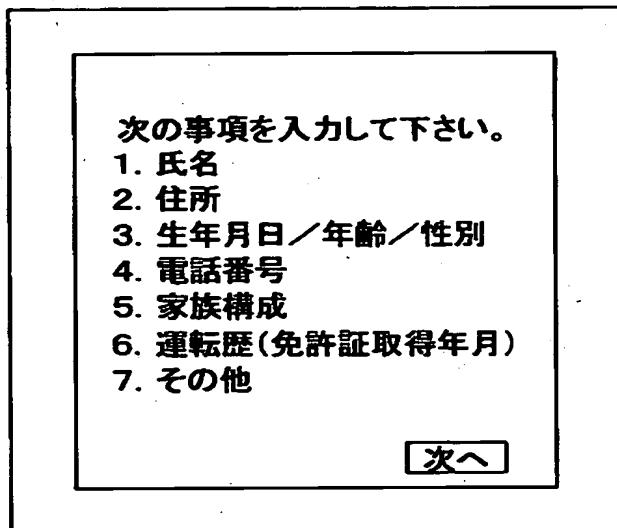
【図8】



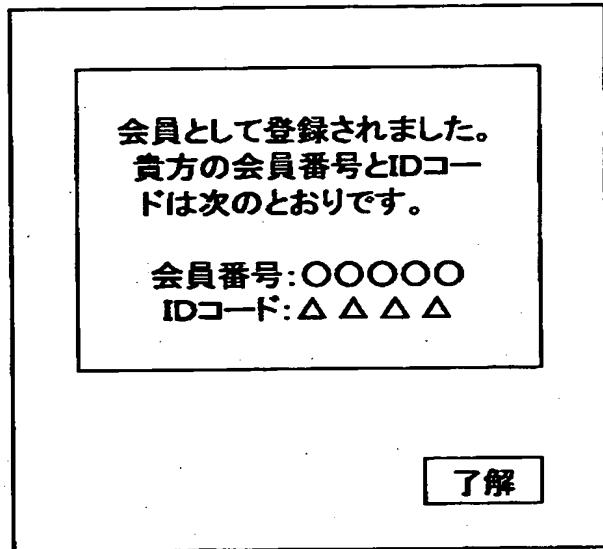
【図9】



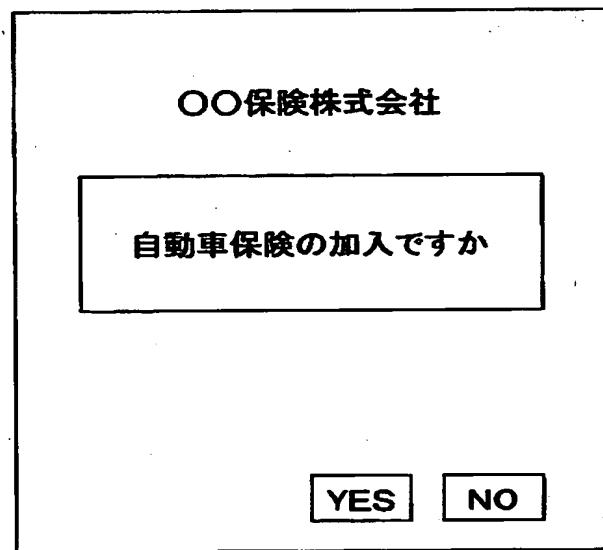
【図10】



【図11】



【図12】



【図13】

次の事項を入力して下さい。

1. メーカー名
2. 車種
3. グレード
4. タイプ
5. 排気量
6. 初年度登録年月
7. 登録番号
8. 総走行距離
9. その他

次へ

【図14】

加入を希望する自動車保険の内容
を入力して下さい。

1. 対人賠償
 - 無制限
 - 〇〇〇〇万円
2. 対物賠償
 - 〇〇〇万円まで
 - 〇〇万円
 - ~〇〇〇万円
3. 自己賠償
 - 〇〇〇万円まで
 - 〇〇万円
 - ~〇〇〇万円
4. 同乗者賠償
 - 無制限
 - 〇〇〇〇万円
5. 運転者特定
 - 有り
 - 無し
6. 運転者年齢制限
 - 無制限
 - 30歳以上

次へ

【図15】

次の事項を入力して下さい。

- 1. 事故歴
- 2. 交通違反歴
- 3. スピード違反歴
- 4. 急ブレーキ使用率
- 5. 急ハンドル使用率
- 6. その他

次へ

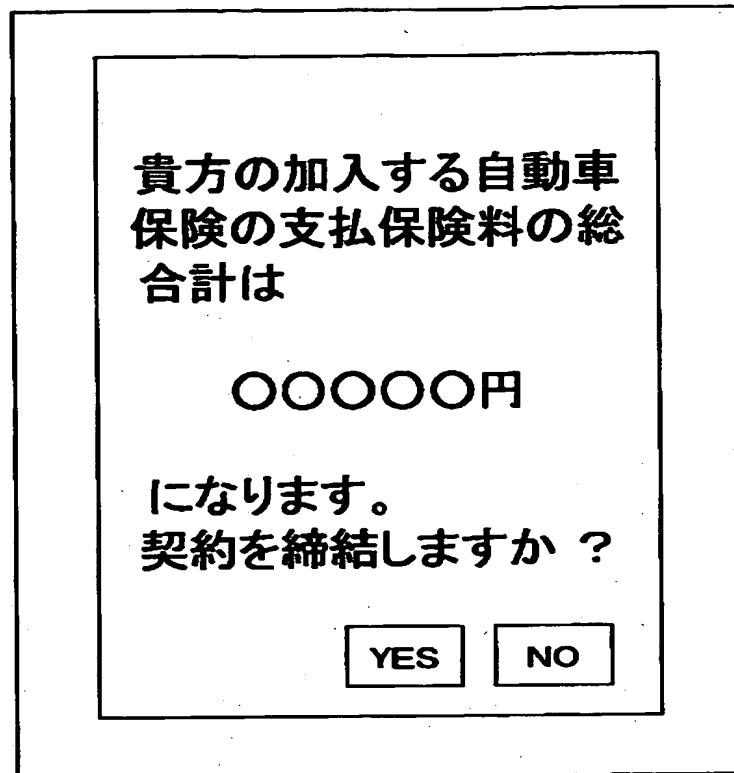
【図16】

次の事項を入力して下さい。

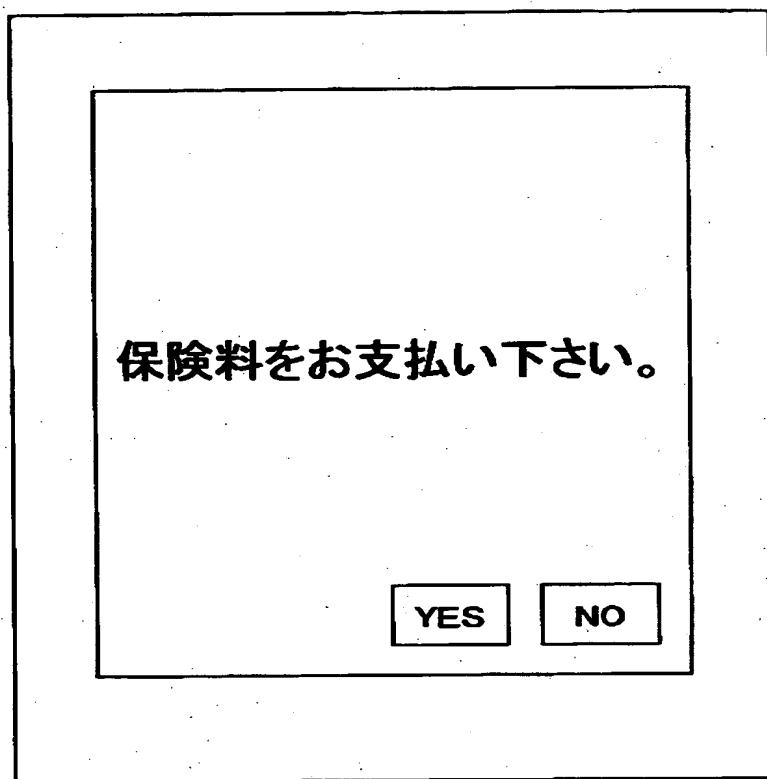
- 1. 修理歴
- 2. 定期点検実施率
- 3. 整備状態
- 4. 製造年月
- 5. 多走行地域
- 6. その他

次へ

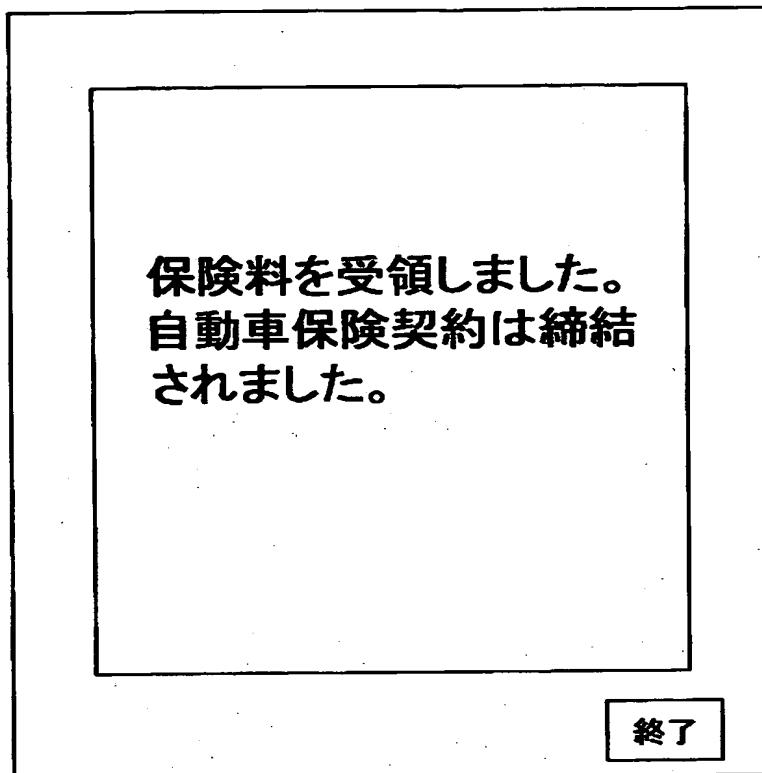
【図17】



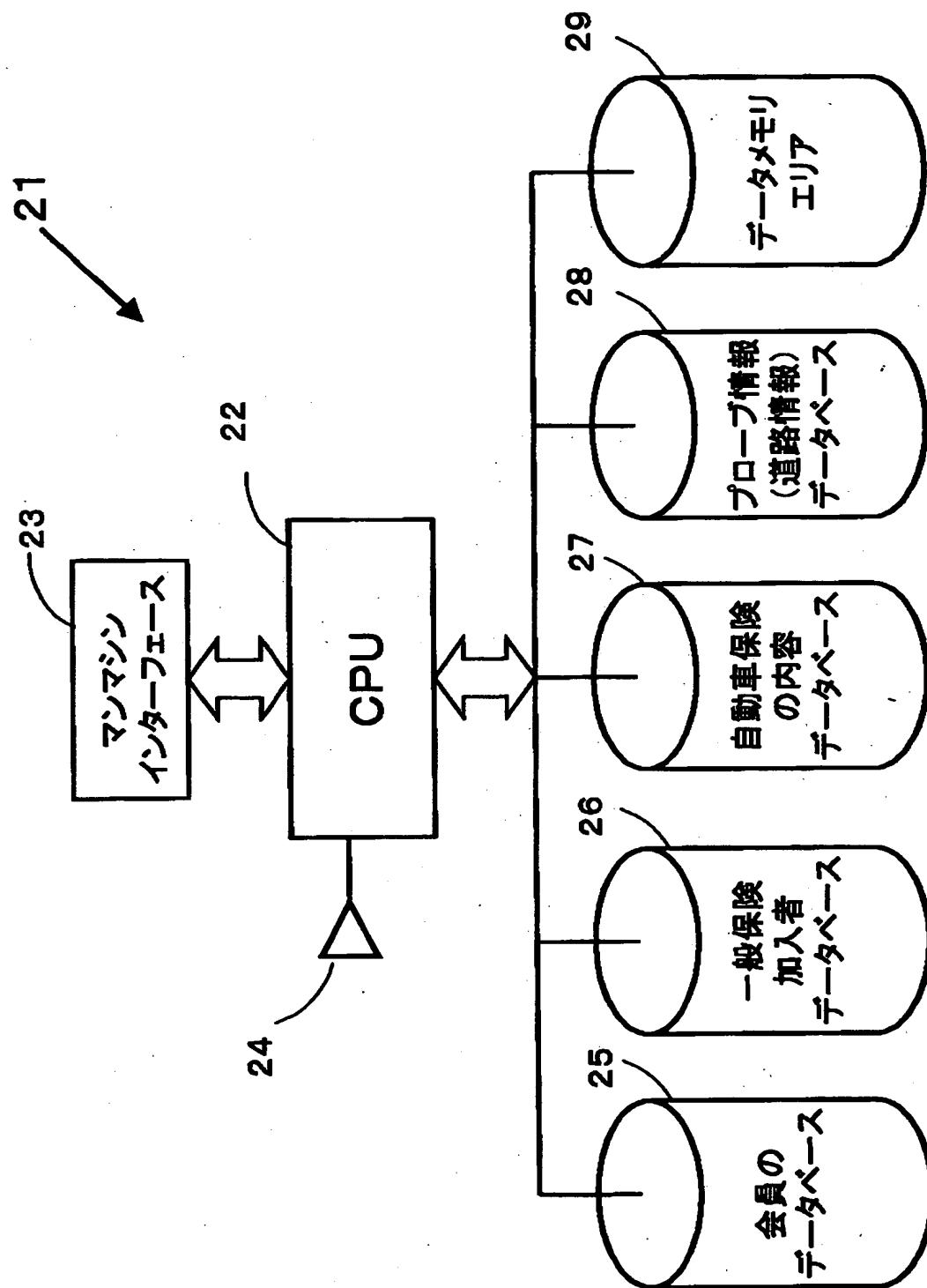
【図18】



【図19】

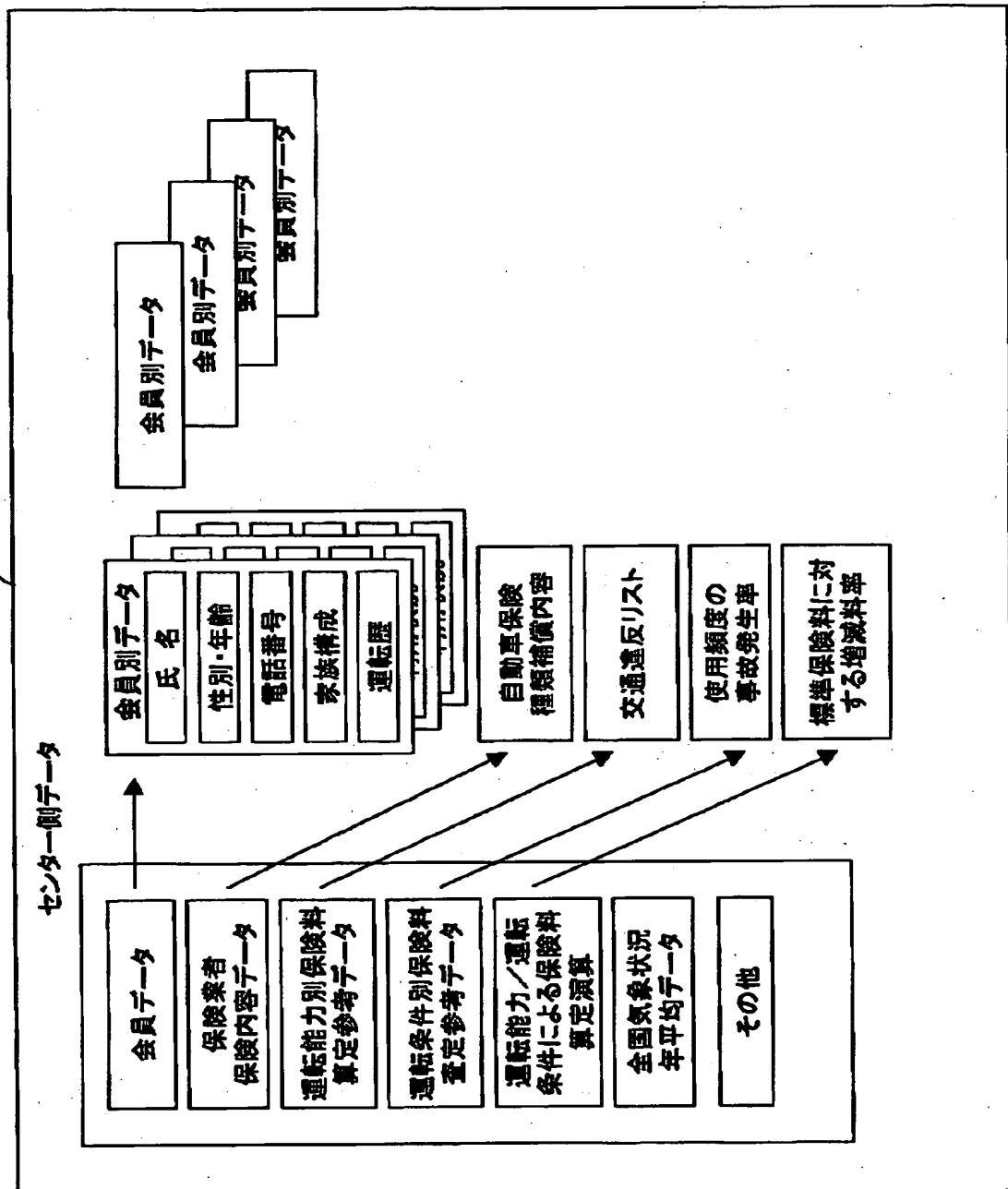


【図20】



【図21】

60



【書類名】 要 約 書

【要約】

【課題】 保険加入者の運転能力に応じて適正な保険内容を設定し、保険加入者の運転能力に応じた適正な保険料を設定することのできる自動車保険の内容設定システムを提供すること。

【解決手段】 保険加入者が保険の対象項目と保険の補償内容とを特定して行った自動車保険の加入申込に基づいて、前記保険加入者の運転能力の提示を求め、前記保険加入者から提示された運転能力を算定評価し、前記保険加入者の特定する保険の対象項目と保険の補償内容でなされた保険加入申込に基づいて前記算定評価した前記保険加入者の運転能力に応じて当該自動車保険に対して保険料の算定を行うようにする。

【選択図】 図2

認定・付加情報

特許出願の番号	特願2001-089178
受付番号	50100433622
書類名	特許願
担当官	第七担当上席 0096
作成日	平成13年 3月28日

＜認定情報・付加情報＞

【提出日】 平成13年 3月27日

次頁無

出願人履歴情報

識別番号 [000005108]

1. 変更年月日 1990年 8月31日

[変更理由] 新規登録

住 所 東京都千代田区神田駿河台4丁目6番地

氏 名 株式会社日立製作所